

退公連耶麻支部会報**No.58**

発行・・・支部長 矢部 宥一

発行所・・・耶麻支部広報

<巻頭言> 来年度の県大会に向けて

支部長 矢部 宥一



会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。今年の夏は今までに経験したことのないほど気温が高く、雨の少ない異常な夏になりました。苦勞されている会員の姿が頭に浮かんできます。自分のことを振り返っても、一日一日を予定に従って動いているわけですが、体力が弱ってきていることを感じながら、どうにか乗り切ってきたように思われます。

そんな中、7月25日に喜多方プラザで開催された「少年の主張喜多方大会」を聞く機会がありました。7名の市内の中学生が各学校代表の形で発表してくれました。力強い発表と内容の素晴らしさに心が洗われる気がしました。たくさんの元気をもらうことができました。発表者は女性が多く、女性が先頭に立ってこれからの社会が動いていく時代になってきていることも感じました。

戦争や災害など、毎日のように流れてくるテレビのニュースを見ていると気持ちが暗くなりますが、この日は心もすっきりし、何か未来への希望を感じることができた日になりました。

退公連では県大会が来年、会津で開催されます。大会に向けて会津各支部からの代表が会議を持ち、大会を開催できるように取り組んでいるところです。会員の皆様に係役員などでお世話になります。大変だとは思いますが、皆様のご協力をよろしくお願いします。若いときの気持ちを思い出しながら、県大会に向けて活動に取り組んでいきたいと思っています。

絵手紙を描く会に今年も参加しました

星 順子

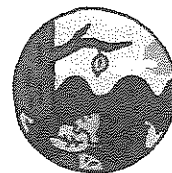


今年も絵手紙を描く会に参加しました。昨年に続き2回目です。今年は昨年より参加人数が少ないということでとても残念でした。

絵手紙を描く会の会場に到着すると昨年同様すでに準備がすっかり整えられ、みなさん作業に入っておられました。2回目の私も彩色開始、時々見本の絵手紙を参考に進めます。ある程度の枚数が完成したら乾燥させ、文章を入れます。他の方々の完成した絵手紙をいろいろ見ていくと、何と一色で濃淡をつけ白地を生かした絵手紙や数色のぼかしの入った絵手紙など高度なテクニックに驚き、絵手紙の奥の深さを感じました。塗り絵の領域を出ない私の絵手紙ですが、今年の酷暑に負けないように心を込めて描きましたので、私の絵手紙が届いてしまった方はご容赦ください。

昨年は昼食会には参加できなかったのですが今年はそちらにも参加しました。食事をしながら、自宅でとれる野菜の話やキュウリの大量消費方法、ハクビシンやタヌキの話、かわいいお孫さんや曾孫さんの話で盛り上がり、これも絵手紙を描く会に参加したご褒美かなと楽しいひと時を過ごしました。

秋の詩 わがふれあいの山野



安部 一之

夕暮れの
とても早いのに驚いています
あれから
毎日山を見詰めています

山の変化を見落すまいとしています
でも
いっこうに出歩かないのは
怠慢なのでしょうか

アカシヤが色づきました
あれは何という色なのでしょう。
群がり
間もなく多彩な顔になります

十月です
いも煮の帰り道
峠で龍胆の花を見つけました
いつもの道なのに気付きませんでした

クリ色 ベンガラ色 エビ茶
濃茶のいろいろな茶色
カラシ色 枯れ茶色
朽ち葉色 レンガ色 カキ色
渋い緑のうぐいす茶 ひわ茶

詩の教材で
「夕焼け」吉野弘を学習しました
夕焼けを見たことがないという生徒
実は私もゆっくり見ていないのです

(朝日新聞の日曜版から)

異常な暑さの夏から
長雨の陰うつ
ふと気が付くと
冷えた風に追われています

阿賀 川も静かです
飯豊も静かです



年金研修会に参加して

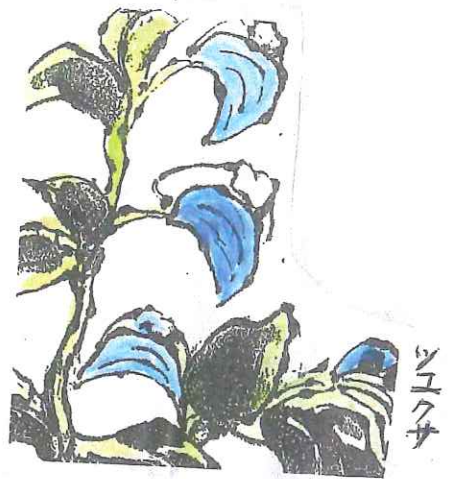
年金部長 穴澤 壽彦

今年度の研修会は8月2日(土)に会津若松市の会津大学で開催された。研修内容は、講話1として「人生100年時代の公的年金制度」、講師は秋山時夫氏、講話2は「ときめいて今、2025」で、講師は成田正良氏であった。

内容は講話1「人生100年時代の公的年金制度」

- ① 年金制度の仕組みと現役世代のことも考えなければならないという考えが大切。次に、
- ② 年金制度の課題のあり方、そして
- ③ 年金額の支出に関して

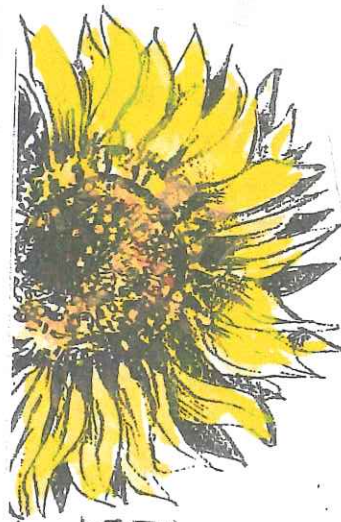
まとめとして、年金制度が破綻するとか、若い世代が年金を受け取れなくなる等の心配は多少極論に思われるが、それには制度をよりよくする。安定させるための不断の努力が必要である。前述したが、認識を共有し、感謝し、現行制度を引き継ぐべきである。という話が印象に残った。そして、成田正良氏のユーモアたっぷりの講演も会場を和ましてすばらしかった。



ツユクサ



花しょうぶ



ヒマワリ



花しょうぶ



耶麻退分連女性部

クリススローズ



キキョウ

酷暑、猛暑の中、涼風のような癒しを感じましたね

私の近況について

五十嵐 カツ子



①

小学校の夏休みが終わって、登校する児童の交通指導に行ってきました。笑顔でキラキラしている子が例年より少ないように思いました。朝から暑いので、児童は大変だったようで、汗びっしょりのつかれたような顔でした。

夏休みがスタートしたときのラジオ体操に、私も参加させていただいたのですが、一週間で終了しました。それからずっと地区の児童に会うチャンスもなく過ごしていました。

日中は一人暮らしで、話し合いする人もいないので、声がかすれて大きい声が出なくなっていました。そこで、公民館の合唱クラブに入れていただくことにしました。二ヶ月たったところで、元にもどった気がしています。おかげで月一回「読み聞かせ」でエプロンシアターをやりましたが、無事にできました。

② 私の一日

- 1 早朝のウォーキングが五千歩を目安にして続けています。
- 2 テレビで（Eテレ）ラジオ体操とみんなのうた（大きい声で）
- 3 新聞の記事を切り取ってノートにはる。（朝日と民報を読む）マンガと天声人語、あぶくま抄、脳活を切り取ってノートにはる。
- 4 今日視聴する番号をえらぶ。
- 5 薬を飲む。
・ヤクルト 明治牛乳 ・血圧を下げる錠剤 ・骨のために（ボンビハ） ・目薬をさす
- 6 帽子、サングラス
- 7 カサをさすこと

③

以上のことに注意して生活していると夜よく寝ることができるようです。あとひとつは仲間とぬり絵にはまっています。だいぶたまったので公民館や塩川駅の待合室に展示させていただきます。今からの楽しみは、退公連女性部の十月十六日の「もみじがり」で、なつかしい人とお会いし、おしゃべりをする事です。よろしくお願いします。

編集後記

広報副部長 青山 邦夫

今までに例のない猛暑、酷暑の夏でしたが、そのような状況の中でも多くの会員の方々から多様な見方で原稿を寄せていただきました。

研修会の報告や絵手紙関係、会員の近況や詩の寄稿、そしてカラー版での六種の絵手紙で、一挙に六通の暑中見舞いをもらったような感じになられたのではないのでしょうか。

紙面の都合上、意が十分に伝わらなかった場合はご容赦いただき、寄せていただいた会員の方々に深く感謝申し上げます。

